



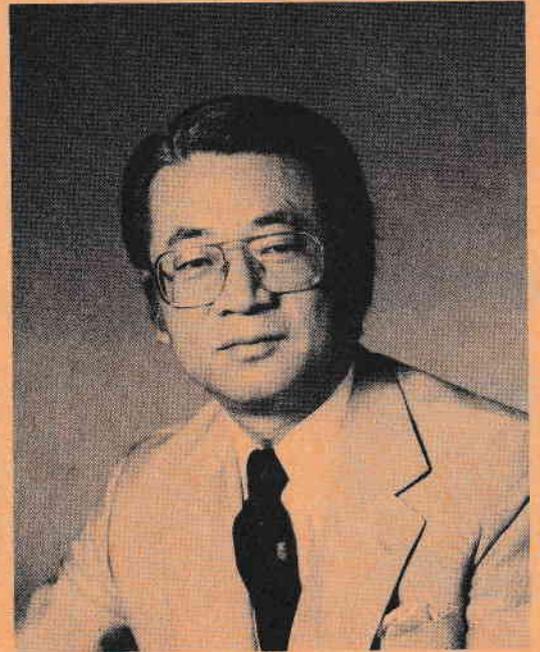
# オクソン 倶楽部



1989年 春季号

## 「宴」の心と技

堺屋 太一



**堺屋 太一**  
 (本名 池口小太郎)  
 (作家)  
 財団法人 大阪21世紀  
 協会 常任理事  
 財団法人 アジアクラ  
 ブ 理事長  
 税制調査会 特別委員  
 国土政策懇談会 委員

人は「楽しみ」を求め  
 る。それは知的な動物と  
 しての人間の本能だ。

楽しみは「交わり」に  
 始まる。社会的な動物で  
 ある人間は、何よりも人  
 間に興味を持っているか  
 らだ。

楽しみを求めて交わる  
 人々は共通の雰囲気を含  
 む。共に見、共に聞く  
 ことによって、共通の関  
 心事を持つとうとする。

「交わり」には色と形と  
 音とが望まれる。「交わ

り」の場には、装飾がな  
 され、演技が行われ、音  
 楽が奏でられるものだ。

楽しみを求めて交わる人々  
 はまた、意志と表現を交  
 換しようとする。「交  
 わり」には会話があり、  
 見振りがあり、装いがあ  
 る。人が交わる時、人は

みな、あらゆる方法で自  
 己を現そうとするものだ。  
 何よりも、楽しみを求  
 めて交わる人々は、共に  
 生きていることの実感を  
 求めて、共に味わい共に

求める。その世の中に大  
 いなる幸せを造るだろう。

酔うことを欲する。食べ  
 かつ飲むことは生きる物  
 としての人間の存在を自  
 覚する最も基本的な行為  
 であり、美食と美酒とは  
 人間の本能的な喜びだ。  
 そしてそれを共にするこ  
 とこそ、共に生き、共に  
 楽しむ証でもある。

人が楽しみを求めて交  
 わる時、よき食べ物とよ  
 き飲物、よき色とよき形、  
 よき音とよき会話、それ  
 てよき演出が要る。それ  
 を併せ持つものをこの国  
 では「宴」と呼んだ。

「宴」には、楽しみを  
 求めて交わる「心」と楽  
 しみをいえます「技」と  
 が必要だ。それゆえ「宴」  
 の心を広げ、技を高める  
 ことは、この世の中に大  
 いなる幸せを造るだろう。

## 浪漫のある貴族の休日

### フランスへの 旅のお誘い

草木の緑と花の香りに  
 つつまれた、ときめきの  
 季節……、入学や門  
 出……、それぞれの  
 出発にふさわしい慶びの  
 春になりました。

昭和から平成へと移り  
 変わったことし、おかげで  
 「オクソン」は、開店15  
 周年を迎え、新たな節目  
 の再出発の年にしたいと  
 希望にもえております。  
 どうぞ、「オクソン倶楽  
 部」の皆様、さらに今後  
 一層のご愛顧、ご指導を  
 賜わりたく、よろしくお

願ひ申し上げます。

15周年を記念し今秋には、  
 究極のグルメを味わいな  
 がら、フランス淑女の憧  
 れの高級温泉ホテルや、  
 ナポレオン3世が築いた  
 壮麗な宮殿ホテルを宿に  
 して、伝統あるゴルフ場  
 でプレイをしたり、乗馬  
 などをして、貴族の休日  
 を楽しんでみませんか。  
 このような浪漫のある、  
 フランスの旅を企画致  
 しました。(日程その他  
 詳細は別紙に記載)  
 あなた様も、ときには休  
 暇をとって「オクソン倶  
 楽部」の皆様方と旅にお  
 出かけになられませんか。  
 (店主・山口)

